

父) トランクイリティーの05 メス・鹿毛 2005年3月15日生

全40口 ●1口40万円 (総額1,600万円)

生産 ノーザンファーム 繋養 ノーザンファームYearling



アグネスタキオン 栗 1998	*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Halo	Hail to Reason
		Wishing Well	Cosmah
	アグネスフローラ 鹿 1987	*ロイヤルスキー	Understanding
		アグネスレディー	Mountain Flower
トランクイリティー 黒鹿 1997	*トニービン Tony Bin 鹿 1983	*カンパラ	Raja Baba
		Severn Bridge	Coz o'Nijinsky
		*リアルシャダイ	*リマンド
	ボンヌシャンス 鹿 1992	マックホープ	イコマエイカン
			Kalamoun
			State Pension
			Hornbeam
			Priddy Fair
			Roberto
			Desert Vixen
			*ノーザンテスト
			ヨドセローナ (8)

ポイント

POINT

同系のダイナカールの華やかさに比べると地味な印象であったマックホープも近年は活発な動きを見せており、近く迫った大噴火の予兆を感じます。また、フジキセキを代表例に年を重ねるごとに産駒成績を伸ばしてくるサンデー後継種牡馬のパターンを読めば、アグネスタキオンの大爆発もこれからが本番と言えるでしょう。本馬は重厚で筋肉質な父の傾向が母父トニービンによって程よく中和されており、長くすっきり伸びた四肢、薄い肩先と深い胸から距離の融通性を感じます。温厚で精神的に安定している点も強調材料です。